

留萌市外2町衛生センター建設

し尿処理場八線左沢に建設

一日40klの処理能力

源水と同じ状態で排水処理を

留萌・増毛・小平町の一市二町で建設を計画してきた、留萌市外二町衛生センターの建設工事がいよいよ昭和五十一年十月末完成(予定)をめざしてスタートしました。

この衛生センターは、留萌市の施設の老朽とともに、他二町は野外投棄していたため、環境の汚染などを考慮し、個々で設立するよりも、相互の力を合せ、より高度の施設建設と、地域環境をより守り経済的である、との見地から、さる四十八年十一月、留萌市外二町衛生センター組合(組合長原田栄一)を設立、建設計画を集めてきたものです。

立潮静小学校向沢(国道三三三号線沿)から約一・一キロ南側に入ったところです。総面積約六千九百平方メートルに、管理棟、投入室、汚泥乾燥焼却炉室第一、二消化槽、二次処理室(曝気槽)などが配置、総予算約十億円建設されるものです。設置される機種は活性汚泥処理

方式で、一日平均約四十キリットルの処理能力を有します。また、この方式ですと、投入時BOD一三五〇PPM(BODについては下記を参照してください)のし尿が、最終放流時ではBOD三〇PPM以下で清水と同条件で(環境規程処理施設規程に適合)八線沢川から留萌川に放流することになります。

つまり、投入槽に投入されたし尿は、破碎され脱水され、夾雑物を除去し消化槽へ滞留されます。消化槽は、七二〇キリットルで一日四〇キリットルを十五日間滞留、第二でも十五日の滞留、曝気槽前ではBOD二五〇PPMに

(BODとは)

BOD (Biochemical Oxygen Demand)

生物化学的酸素要求量のこと。河川の水の中や海水の中の汚染物質(有機物)が微生物によって無機性酸化物とガス状とに分解し安定化されるとき必要とされる酸素量のこと。単位はPPMで表わされます。

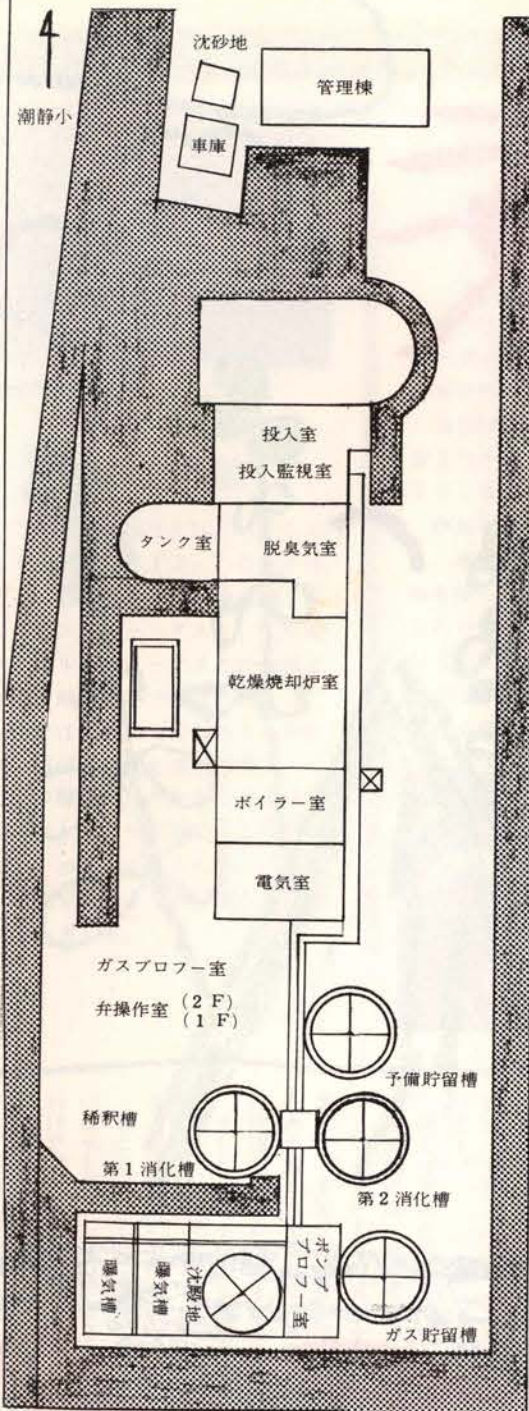
(百万分の一の表示です)

この数値が大きくなれば、その河川などの水中には汚染物質(有機物)が多く水質が汚濁していることを意味します。

PPM (Parts Per Million)

百万分の一の表示です。単位容積中に含まれている物質の量を表わす単位で、特に大気汚染や水質汚濁の汚染物の濃度を表示するのに使用されます。

例えば一立方メートルの大気中に二立方センチメートル、もしくは一リットルの水中に一立方センチメートルの有毒物質が含まれている場合を一PPMと表示します。



市議会第2回臨時会から 工事請負契約などを可決

留萌市議会第二回臨時会は、去る七月二十九日招集、会期を一日として開会されました。

議案には、公住、東光小学校の工事請負契約の締結など二件、決議案一件、請願二件など慎重に審議されました。

議決されました。主な議案など 公営住宅の工事請負契約の締結について 原案通り可決 東光小学校屋体の工事請負契約の締結について 原案通り可決 漁業経営安定に関する要望決議について 原案通り可決

選任されました。委員長村上勇 副委員長三三五 三郎 委員石黒行男 国崎広隆 横山 巖 高橋信郎 浅海英雄 勝山武雄 亀山武勇

留萌市電源立地可能性調査協議会

九月二日委嘱状を交付

調査のための市民意見集約の場

留萌市電源立地可能性調査協議会(仮称)の設立と同時に、この委員の推薦を各団体などをお願いしてきましたが、さる九月一日に次の方々が決まり、四十名の方を市長が委嘱しました。

この協議会は、留萌に火力発電所の設置が可能かどうかを調査するに際し、その方法を審議するために市民の協議機関として設置されたもので、各地には例を見ない事前調査の段階から直接市民

に参加してもらい、納得のいく調査をという、いわゆる留萌方式という調査方法です。今回、市長が四十名の方を委嘱しましたが、委員会の中から会長等を選出、会長が十名の方を委嘱し、五十名の委員により構成されます。

また、任期は、この調査が終了(約二年といわれます)するまでですが、あくまでも調査のための住民意見を市長にのべる、市民の代表としての機構です。加藤 実 西村婿己 以上市農